

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は最新のWA競技規則、2026年度日本陸上競技連盟規則、並びに本大会申し合わせ事項に従って実施する。

2. 招集について

- (1) 第一次招集は、**雨天練習場に設ける招集所**にて番組編成にある本人の組・レーンを確認し、ナンバーに○をつけること。
その際、競技中に着用するユニフォーム・アスリートビブス・腰ナンバーカード・競技使用予定シューズ・商標の確認を受けて招集完了とする。
- (2) 腰ナンバーカードは競技終了後、必ず競技役員に返却すること。
- (3) 同一時間に2種目以上出場する競技者、および競技中のため他の種目の招集を受けられない競技者は、招集を受けることのできない種目の第一次招集完了時刻までに重複出場届を**雨天練習場に設ける TIC**に提出すること。これを持って重複出場届の手続きは完了とする。なお、原則、第二次招集には競技者本人が参加すること。
- (4) 種目別、組別の招集時刻はHPに掲載されている競技日程の記載の通りとする。
- (5) 重複出場届・当日欠場届・混成競技途中棄権届はTICにて配布する。

3. 欠場について

- (1) **事前に欠場者が判明している場合は8月6日(木)正午までに事前欠場届を関西学連(icaak.rec@gmail.com)までメールにて提出すること。**
- (2) 当日欠場は原則として認めない。やむを得ない場合に限り、当日欠場届を当該種目の第一次招集開始時刻までにTICに提出し承認を得ることで、欠場が認められる場合がある。なお、当日欠場届には監督（不在の時は代理人）および本人のサインを記入すること。
- (3) 混成競技において途中棄権する場合は、必ず混成競技係に申告の上、混成競技途中棄権届を早急にTICに提出すること。

4. 競技者の服装について

- (1) 全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。腰ナンバーカードは第一次招集時に招集所にて配付する。
- (2) 混成競技の各日最終種目の腰ナンバーカードは、現地招集時に現地にて受け取ること。
- (3) 本大会はTR5.2ルールを適用し、規格外のシューズの使用は全て禁止とする。
ただし、サークルを用いて行われる投擲種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）については、競技用靴に関する規定（Athletic Shoe Regulations）の適用対象から除外する。

5. アスリートビブスについて

- (1) 加盟校については、学連が配布した2026年度のアスリートビブスを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせず明瞭につけること。また、その他の競技者はエントリー時の番号を記載したアスリートビブスを使用すること。
ただし、跳躍競技においては胸部または背部の一方だけで良い。

5. 競技用器具について

- (1) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし、個人所有のやり・砲丸・円盤・ハンマーの使用を希望する場合は、競技開始90分前から60分前に検査を受けて許可を受ければ、2個まで使用することができる。検査は**ズイニッシュ側器具庫**で行う。
- (2) 棒高跳用ポールは、各自で持ち込んだものを使用すること。
- (3) リレー及びフィールド競技のマークは、養生テープを使用すること。競技場保護のため、それ以外のテープは認めない。

6. 混成競技について

- (1) 別紙「混成競技申し合わせ事項」に従うこと。競技時間の遅れなどは、アナウンスで連絡する。

7. トラック競技について

- (1) トラック種目は次のラウンドを行わない。
- (2) 計時について、トラック競技の計時は写真判定（0.01 秒）とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時（0.1 秒）とする。
- (3) 救急搬送防止および選手の安全確保のため、審判長や競技役員が競技者の体調を見て、医師または医務員と協議のうえレースを中止させる場合がある。その場合、必ず指示に従うこと。
- (4) 本競技会は SIS（スタートインフォメーションシステム）を使用しない為、スタート時の不適切行為及び不正スタートの判断は目視で行う。

8. フィールド競技について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	種別	ビット	試技開始	備考
走高跳	男子	B	1m60	2m05 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
	女子	B	1m40	1m65 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
	十種	A	1m45	一律 3cm 刻み
	七種	A	1m25	一律 3 cm刻み
棒高跳	男子	バック(1 組目)	3m40	4m80 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
		バック(2 組目)	4m40	
	女子	バック	2m40	3m40 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
	十種	バック	2m60	一律 10cm 刻み

- (2) 走高跳・棒高跳の練習の高さは当日、選手と審判長の協議により設定する。また、悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・関西学連の協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。
- (3) 競技者が 1 人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。
- (4) 走幅跳、三段跳の試技は 3 回とする。
- (5) 三段跳の踏切板の位置は、男子は 1 組(A ビット)が 13m、2 組(B ビット)および 3 組が 11m、女子は 1 組(A ビット)が 10m、2 組(B ビット)が 9m とする。
- (6) 走幅跳（混成競技含む）及び三段跳の踏切判定には、粘土板を使用する。（ビデオカメラは使用しない）
- (7) 棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。
- (8) 投擲種目の公式練習は最低 2 回とする。ただし、ハンマー投は 1 回とする。
- (9) 現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことができる。しかし審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・関西学連等で協議し対処する。（TR6. 2）

9. 抗議と上訴について

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表されてから 30 分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭で TIC を通じて審判長に申し出なくてはならない。（TR8. 2、TR8. 3）
- (2) 審判長の裁定に不服な場合には、ジュリーに上訴できる。審判長裁定後 30 分以内に、TIC にて上訴申立書を記入し、預託金 2 万円を添えて提出すること。その結果は最終的なものとなる。（競技規則 TR8. 7. 1、 8. 7. 2）
- (3) 抗議受付は、TIC に設ける。必要用紙に記入し、行うこと。

10. 悪天候時等の対応について

- (1) 競技の実施が不可能となることが予想される場合には、関西学連会長・ヘッドコーチ・競技委員長・事務局長・幹事長と陸協等で方針を協議する。
- (2) WBGT 値が 31 以上となった際は競技を中断または中止することがある。
- (3) **中止となった種目のエントリー料の返金を行わない。**

11. その他

- (1) 記録の正式発表は大型ビジョンにて行う。
- (2) 事前欠場者の人数により、番組編成を変更する場合がある。
- (3) 記録証明書の発行を希望する競技者は、2 階正面入口（C ゲート）に設けるインフォメーションセンターへ発行手数料 300 円を添えて申しこむこと。
- (4) **競技場内に立ち入る際は、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判員・学生補助員についても同様とする。**
- (5) 競技者は競技区域内にビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込まない。（競技規則 TR6.3.2）ただし、フィールド種目に出場している競技者は映像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画 再生機器を手にしても良い。（競技規則 TR6.4.5）
- (6) 注意事項及び競技者としてのマナーを逸脱した行為が見受けられた場合は、その該当者の所属する団体の以後の競技を中止させ処罰を与える場合がある。
- (7) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。

関西学生陸上競技連盟